

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公開番号】特開2015-101592(P2015-101592A)

【公開日】平成27年6月4日 (2015.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2015-036

【出願番号】特願2013-240605(P2013-240605)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/66 (2006.01)

C 0 8 G 18/48 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/66 D

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 G 18/48 Z

C 0 8 G 18/66 G

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月28日 (2016.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生物由来グリセリンのアルキレンオキサイド付加物 (a 1)、ショ糖のアルキレンオキサイド付加物 (a 2) およびソルビトールのアルキレンオキサイド付加物 (a 3) からなる群より選ばれる少なくとも 1 種であり、数平均分子量が 200 ~ 1,200 である生物由来ポリオール (a)、ひまし油又はひまし油誘導体 (k)、並びにセルロース (b) を含有してなり、かつその全重量中の生物由来成分の割合が 50 ~ 95 重量%であるポリオール成分 (Z) と、生物由来炭酸塩 (j) を含有してなるポリイソシアネート成分 (Q) とが反応したポリウレタン樹脂 (C)。

【請求項 2】

生物由来炭酸塩 (j) が、ホタテ貝殻粉末である請求項 1 記載のポリウレタン樹脂。

【請求項 3】

ポリウレタン樹脂 (C) 中の生物由来成分の割合が、25 ~ 80 重量%である請求項 1 または 2 記載のポリウレタン樹脂。

【請求項 4】

ポリウレタンフォームまたは非発泡ポリウレタン樹脂である請求項 1 ~ 3 のいずれか記載のポリウレタン樹脂。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか記載のポリウレタン樹脂を成形してなるポリウレタン樹脂成形品。

【請求項 6】

切削加工用である請求項 5 記載のポリウレタン樹脂成形品。